

国内の酷暑環境下で施工される構造体コンクリートの品質管理に関する研究

申, 相澈

<https://hdl.handle.net/2324/1937167>

出版情報 : 九州大学, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	申相 澈			
論文名	国内の酷暑環境下で施工される構造体コンクリートの品質管理に関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	小山 智幸
	副査	九州大学大学院工学研究院	教授	濱田 秀則
	副査	九州大学	准教授	山口 謙太郎
	副査	日本大学	教授	湯浅 昇

論文審査の結果の要旨

本論文は、気候変動により過酷化する現在および近未来の暑中環境下で施工される構造体コンクリートの品質に関して、高温がフレッシュコンクリートおよび硬化コンクリートの特性に及ぼす影響を、柱、床スラブ、壁部材などの構造体を模擬した実大レベルのコンクリート試験体を用いた実験を行って定量的に明らかにするとともに、強度管理においては構造体強度補正值 $_{28}S_{91}$ の値とその低減方法、養生管理においては床スラブの実用的な養生方法を示し、また壁体におけるコールドジョイント発生の判定基準およびその抑制方法、さらには人工軽量細骨材の自己養生効果を利用した対策とその効果ならびにメカニズムを明らかにするなど、今後の暑中コンクリート工事における具体的な品質管理基準と合理的な対策方法を示したものであり、建築材料学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。